

# 中川正春の永田町かわら版

2005/12/26 第246号

【編集元】民主党三重第2区総支部 衆議院議員中川正春事務所

E-mail: g03063@shugiin.go.jp

三重／〒513-0013 鈴鹿市国分町453-7 TEL:0593-73-3933/FAX:0593-74-3088

東京／〒100-8981 千代田区永田町2-2-1衆議院第一議員会館428号室 TEL:03-3508-7128/FAX:03-3508-3428

## ○相続税の問題(市民相談から)

最近、市民から寄せられたたくさんの要望の中で、努力している問題の中から一つ。

「四日市市が市道を付ける条件として、この農地を買収ではなく寄付をしてくれれば予算を付けて工事をすると知っている。しかし、農地以外の目的に使用ば、たとえ寄付と言えども免除になっている相続税が生き返ってきて、払えということになる。せっかくただで寄付をすると言っているのに、そのために税金を取られるのはおかしい。中川さん、何とかしろ。」

役所を呼んで調べてみると、租税特別措置法第70条の6に、農業をするということが条件で相続税が免除されているので、たとえそれが寄付であっても、農地として利用されない限りは、免除は認められないと書いてあります。

ここであきらめないで市民の常識に従って解決するとすれば選択肢は三つ。一つは、法律を修正して、地方自治体など公に寄付をする場合は、特例として相続税免除をそのまま認める法律を国会で成立させる。もう一つは、四日市市に、相続税の価額で用地の買収をしてはどうかと、持ちかけ、納得してもらえれば、本人にとっての、税負担を0とする。三番目は、あきらめてしまって、今の制度では、相続税の負担は、法律に従って払ってもらうことになることと説明すること。この場合、寄付はアホらしいとなり、道路はつかなくなるのでしょう。

市民の常識が法律や役所の常識となるようガンバロやないかと役人を説得にかかっています。

## ○来年の通常国会、日程協議はじまる

1月20日から通常国会を始めたい、と与党から提案がありました。開会初日に総理大臣の所信表明演説や、財務、外務、経済産業などの主要閣僚の演説をしたい。23日月曜日から2日間で各党の代表演説。

さらに、今回の選挙で自民党の議席が躍進したので、野党の質問時間は従来の半分にしたい。最初っから高飛車です。

私は、具体的な日程協議に入る前に、与党には3つの条件を満たすことを要求しています。第一に、現在進行中の姉齒問題(耐震構造偽造問題)に対して、民主党の要求通り、国土交通委員会への更なる証人喚問と参考人招致を早急に実現すること。第二に、通常国会では、補正予算で計上されることになっている耐震構造問題に対する公的保障、アスベスト対策など懸案事項を先行する。その後、本予算の議論に入ることで、分離すべきだ。第三に、自民党が少し勝ったからといって、野党の言論を制限するとは、お門違いもはなはだしい。民主党は、もともと120人から出発して、170人台そして再び120人に戻った。その間、自民党の数が減ったからと発言に制限を加えたことはなかった。「小泉さんに対してものが言えなくなっているからといって、私たち野党がそのトバッチリを受けなければならない道理はない。」荒れる国会になりそうです。

## ○天皇陛下72歳のお誕生日

天皇誕生日には、皇居にお招きがありました。国会議員は何年かに一回の枠がくじ引きで当たります。ご馳走は、鯛の塩焼き、鯛とイカの刺身、麴味噌の汁、うなぎの茶碗蒸し、薄味仕立ての味ご飯に、羊羹などのお菓子とお神酒がきます。

天皇ご夫妻と皇太子様が楽しそうに歓談しながらお召し上がりの様子を拝見して、「マスコミには、この和やかなご様子をもっとしっかり取材する機会を作らなければ。皇太子様がかわいそう。」皇室の打ち解けた雰囲気、うちのカミさんもうっとり見とれていました。

2006年、皆さんにとっても、いい年でありますように。